



8月 ほけんだより

本格的な夏がやってきて暑さが増してきました。子ども達は元気に毎日を過ごしていますが、熱中症も心配な時期です。子ども達には、屋外の活動では帽子を必ずかぶり、水分をこまめにとるように声掛けをしています。ご家庭でも、熱中症対策をお願いします。

熱中症について

熱中症は、日射病、熱射病などの総称です。日射病は、戸外で強い直射日光にさらされることが原因で、熱射病は室内でも気温の高い場所に長時間いたために起こることが原因です。

熱中症の症状

日射病～顔は赤く、呼吸が荒くなります。皮膚感覚は熱く、体温が上がっても汗が出ず、めまい・頭痛・吐き気などを伴います。
熱射病～顔は青白く、大量の汗をかきます。皮膚感覚は冷たく、めまい・吐き気を伴います。

なぜ子どもは熱中症になりやすい？

子どもは体温調節がうまくできず、温度変化の影響を受けやすい、また衣服の着脱も水分補給も一人でやるのが難しいため、容易にかかりやすいのです。
車や家の中でも熱中症になります。特に車中では、気温が高くななくても高温になるので、子どもを一人にするのは絶対に避けましょう。



令和4年7月25日
松島さくら保育園 保健室

熱中症の予防ポイント

- ★日中は帽子をかぶって外出をしましょう。日除けのあるベビーカーも照り返して暑くなるので、散歩はできるだけ短時間で切り上げましょう。
- ★炎天下の遊びは、長時間に及ばないように注意しましょう。海や屋外プールなどの水辺でも、30分毎に日陰で休息をとるようにしましょう。
- ★肩まで隠れる、吸湿性、吸水性に優れた衣服を選びましょう。
- ★水分補給は、電解質の入っている経口補水液などの飲み物を与えましょう。

新型コロナウイルスの新規感染者が急増しています

7月に入ってから、新型コロナウイルス感染症新規感染者が急増しています。オミクロン株の派生型「BA・5」が県内でも確認されており、一層注意していかなければなりません。

Q 「BA・5」とはどんなウイルス？

A 今年2月に南アフリカで見つかった変異ウイルスです。これまでのオミクロン株と比べて感染が広がりやすいとの見方があります。

Q 重症化しやすい？

A 重症化や死亡に至る割合は、大きな差はないと考えられています。一方で動物実験ではそうしたリスクが高いとの結果もでています。

Q ワクチンや薬は効くの？

A 効果が弱まる恐れもあり、感染歴のある人が再びかかるかもしれません。

Q できる予防策は？

A これまでと同じです。人が集まる場所ではマスクを着用する。公共の物に触れた時は手を消毒する。発熱などの症状がある時は他の人と会わない。閉鎖された場所で密集しない。

山梨大学付属病院の井上修医師によると、コロナ感染の最近の傾向として、小児はお腹を壊す・食欲不振など消化器症状が最初に現れる症例があるとのこと。お子さまの体調管理を引き続きよろしくをお願いします。